

## 令和5年度 事業報告

令和5年度において、当センターは設立40周年を迎え、新型コロナウイルス感染症の制限緩和が進む中で記念式典も無事に開催することができ、これまで長くセンターにご協力いただいた会員の皆さんと、同じく長くご協力いただいた発注者の皆さんに感謝の意を表することができました。

また、令和5年10月から施行された適格請求書等保存方式（インボイス制度）の施行に伴い、事務費率の再度の値上げを実施せざるをえず、大幅な業務縮小も懸念されましたが、幸いほぼすべての発注者からご理解をいただき、大規模な受注量減少は回避することができ、消費税支出に耐えうる事務費収入は確保できました。

これらの状況のもと、当センターの契約金額は 249,723,874 円（前年度比 98.8%）、内訳としては公共 107,258,081 円（前年度比 102.0%）、民間事業所 118,706,494 円（前年度比 95.5%）、個人家庭 23,759,299 円（前年度比 101.5%）となりました。また、労働者派遣事業に関しては、契約金額は 29,612,656 円（前年度比 108.0%）となりました。

令和5年度における重点目標に対して、以下のとおり報告します。

### 1 会員数確保・拡大

昨年度に続きSMS（ショートメッセージサービス）による連絡を維持し、未就業会員への就業紹介と事業への協力を呼びかけました。また、市内全域で会員募集チラシの配布、市内各郵便局にご協力いただき、「シルバーかしわらを郵便局内に設置いたしました。さらに区長会のご協力により「シルバーかしわら」を回覧板に添付してもらい、センターの名前が市民の目に入るよう努めました。しかし、会員数減少を留めるには至らず、会員数は500名（前年度比96.9%）となりました。

また、会員と事務局との連絡体制を強化するため、会員向けのスマートフォン講習会を1年間実施し、会員向けサービス「Smile to Smile」の運用を開始、SMSによる連絡も継続的に実施した結果、「柏原市民総合フェスティバル」直前の会場清掃には40名、「大和川・石川クリーン作戦」のボランティアには昨年を上回る60名の会員にご参加いただきました。また、40周年記念式典と

会場清掃に関しましては市の広報誌「広報かしわら」令和6年1月号に紹介の記事を掲載していただきました。

## 2 就業機会の維持

就業開拓員による民間事業所への訪問回数を徐々に増やし、インボイス制度の施行に合わせた値上げ対応を依頼していくことで、値上げによる契約解除は避けることができました。しかし、事業所側での機械化等による人員削減に関しては避けることができず、全体としての契約額は減少しました。

また、未就業者に対する単発の清掃業務を8月に上市公園で、3月に上市公園と大和川親水公園で実施し、未就業状態の解消とセンターとのつながりの維持を図りましたが、残念ながら未就業者のご参加はいただけませんでした。しかし、10月に実施した「柏原市民総合フェスティバル」直前の会場清掃への参加者40名のうち6名は未就業者でしたので、実施時期や募集方法を次年度以降も引き続き検討し、未就業者への対応とセンターとのつながりの強化を図ります。

派遣事業に関してはイズミヤ玉手店が新たに派遣事業に移行し、新たな就業場所を確保することができました。

## 3 安全就業の推進

新型コロナウイルス感染症の制限は緩和されましたが、高齢者の感染リスクは高いことから、会員向けの講習会等は引き続き自粛しました。しかし、定期的な健康診断の重要性に関する記事を「シルバーかしわら」で掲載するとともに健康診断を例年どおり実施したところ、55名が受診しました。

安全推進員による現場パトロールは今年度も継続し、引き続き就業現場の把握と安全性の確保、特に夏季は熱中症対策のため就業会員の体調確認を重点的に実施しました。

また、柏原警察署のご協力のもとで、高齢者向け交通安全の文書を全会員に発信し、交通事故防止の啓発に努めました。次年度においても引き続き交通安全を推進いたします。